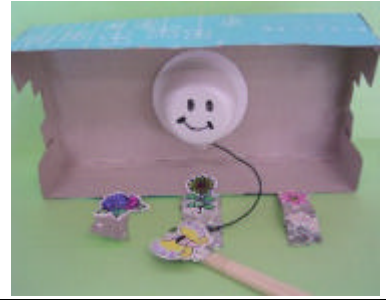


製作マニュアル

ドキドキおみくじ

3 学年 「電気」

製作時間 約30分 製作費用 約150円



準備

- ・豆電球 (1個)・導線つきソケット (1個)・単2乾電池 (1個)
- ・ティッシュの空き箱 (1個)・アルミ箔・セロハンテープ (両面テープ)
- ・飾り (イラスト、油性ペン、割り箸など)
- <道具>はさみ、穴をあける道具 (くぎなど)

作り方

児童の活動

空き箱の必要のない部分をはさみで切りとる。

ティッシュの空き箱に、ソケット、導線を通す穴を開け、箱の内側から導線、ソケットを通す。

緑色の導線を、穴を通して箱の内側に出す。

作り方のポイント



くぎ、鉛筆などを使いソケットと導線を通す穴を開ける。導線用の穴はソケットの下にあける。



緑色の導線は、ソケットの下にあけた穴を通して、箱の内側に出しておく。

アルミ箔を折りたたみ、帯状にする。

空き箱の底にアルミ箔の帯の中心をセロハンテープで固定する。



アルミ箔を折りたたんで作る帯は、一枚の大きさは幅2～3cm、長さは15cm ぐらいを目安に、2枚以上作る。

赤の導線を乾電池の+極にセロハンテープで固定する。



乾電池を動かすので、導線はしっかり固定しておく。

アルミ箔の帯に乾電池、導線を接触させ、豆電球に明かりがつくか確かめる。



乾電池のマイナス極、箱の内側に出した導線をアルミ箔の帯に接触させ、豆電球がつくか確認させる。

作ったゲームで遊ぶ。

【遊び方】

乾電池がのせてあるくじ(アルミ箔の帯)を当てる。当たりのときは、豆電球がつく。何回目で当たりを引くか、などルールを考えさせたり、くじの枚数を増やしたりして楽しむことができる。



飾り付けをする
【飾り付けの例】



導線の先に割り箸をつけて持ちやすくするなど、飾り付けを工夫させる。